

〔国際会議発表〕

発表研究者	東北大学 多元物質科学研究所 助教 山本 俊介	2172008
参加会議	14th European Conference on Molecular Electronics	
出張期間	2017 年 8 月 27 日～9 月 4 日	
開催場所	ドレスデン, ドイツ	
発表論文	Dimensionality Control of π -Conjugated Units Nanoassembly	

概 要：

【目的】本論文が主眼とする「低次元有機半導体材料」に関する研究は国内では未だ活発ではない。このため同じ分野の研究者も少なく、国内会議においては詳細な議論が難しい。そこで国際的な会議に参加し、同分野の研究者と深い議論を行うことで、基礎科学的な内容を深める。これのみならず、「低次元有機半導体材料」研究における世界的な方向性について学会に加え Leibniz Institute of Polymer Research Dresden の Appelhans 博士を訪問し、情報収集、意見交換を行う。

【意義】本論文の内容深化と国際的な研究動向の中への文脈付けを行うことができる。加えて「低次元有機半導体材料研究」の発展による、①量子効果を用いた新規な動作原理に基づく、②生体と親和性のある機能素子の実現に向けた研究により人間と機械の調和の促進を期する。

【成果】申請者の研究を同じ分野の研究者に紹介し議論することで、研究方針の妥当性の検証および見落とししている項目の洗い出しができた。この結果を今後の研究計画の修正・追加などによりフィードバックし、研究のインパクトを高めることを期待している。また、「低次元有機半導体材料研究」領域についての国際動向を収集、および当該研究分野の研究者との人的ネットワークを形成することができた。